

中麗亞戰記正第壹卷第貳章亞細亞戰線史料

昭和二十二年三月二十五日

第三二卷殘務整理部

部隊履歷、概要

一、部隊動員完結、沖繩、石川、石川、状況

昭和十九年七月三日、岡山中部、第百三十三部隊、動員完結

昭和十九年八月十日、岡山、出發

昭和十九年八月二十日、岡山、出發

昭和十九年九月一日、那霸港、到着

昭和十九年九月二日、第百三十三軍、指揮下、入

昭和十九年九月三日、津嘉山、於、第百三十三軍、戰鬥司令部、所、三、八、洞窟

作業、隣村、喜屋武、部隊、於、沖繩、陸軍、病院、泊

業務、從事、從事、

昭和十九年十月八日、第百三十三軍、戰鬥司令部、所、首里、變更、係、首里、移動、

昭和十九年十一月九日、首里、於、第百三十三軍、戰鬥司令部、所、三、八、洞窟、作業、至、傳

地構、築、工事、從事、

昭和二十年四月一日 首里二於丁部隊主力八車、直接防衛三庄一部八五第

三庄部隊配屬首里周、道路及橋梁補修從事

昭和二十年五月二十日 首里二摩文仁(中健平島最南端)ニ移動

昭和二十年六月十日 部隊主力八鈴木兵團美里部隊配屬ヲレ真原平ニ於テ

昭和二十年六月二十日 部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

昭和二十年六月三十日 部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

昭和二十年六月三十日 部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

昭和二十年六月三十日 部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

昭和二十年六月三十日 部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

昭和二十年六月三十日 部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

昭和二十年六月三十日 部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

昭和二十年六月三十日 部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

昭和二十年六月三十日 部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

昭和二十年六月三十日 部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

昭和二十年六月三十日 部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

昭和二十年六月三十日 部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

昭和二十年六月三十日 部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

昭和二十年六月三十日 部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

昭和二十年六月三十日 部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

首里二於丁部隊主力八車、直接防衛三庄一部八五第  
三庄部隊配屬首里周、道路及橋梁補修從事  
首里二摩文仁(中健平島最南端)ニ移動  
摩文仁ニ於テ軍、戰鬥司令部前洞窟内部隊及鈴木兵  
團ニ配屬真原平(摩文仁北方)ニ移動(兵ヲ陣地構築作  
業ニ從事ス  
部隊主力八鈴木兵團美里部隊配屬ヲレ真原平ニ於テ  
真原平附近ニ戰鬥ニ參加(心碎)(部隊長モ不明)  
部隊一部八摩文仁附近ニ戰鬥ニ參加(全員心碎)

第二野戰築城隊(隊長古久八)部隊(第一中隊)

一編成未定、如シ

第一中隊長 大尉

第一小隊長 中尉 山本親光

第二小隊長 中尉 谷野耕平

第三小隊長 中尉 石井光夫

樋口 利直

第一小隊長 中尉 森本盛三

第二小隊長 中尉 今西保一

第三小隊長 中尉 泉藤浅吉

第四小隊長 中尉 島津良夫

第五小隊長 中尉 小幡一太

第六小隊長 中尉 溝上賢吉

行動、概要

一、動員完結、中健平放テ心碎ニ達シ、状況

昭和二十年六月三十日 岡中部隊第一中隊於テ動員完結

八月十日 岡山出發

八月三十日 内國港出帆

九月一日

九月二日

自九月三日

至九月七日

十二月八日

自十月九日

至三月十日

自四月一日

至五月十五日

那霸港上陸

第三十三軍、指揮下に入ル

島尻郡喜屋武に位置する津嘉山に於て第三十三軍、戦斗

力に盡す洞窟に於て從事ス

第三十三軍、戦斗司令部所首尾を變更せん伏して中隊

全員首尾を移動ス

首尾を位置する第三十三軍、戦斗司令部所に入ると洞窟に

業並に陣地構築作業に從事ス但第三十三軍岸下隊は

自十月十日、洞窟に於て電波探知機施設作業に任ず

中隊は第三十三軍隊に配属せし敵を破壊せし首尾固之、

道路及橋梁を補修作業に從事ス

右期間

四月五日

五月十日

上等兵 小西 一 五月十日 一等兵 岸本 正一

一等兵 大野 大 五月十日 一等兵 森川 新一

計四名

五月二十七日

五月二十七日

五月二十八日

五月二十九日

五月三十日

自五月三十日

至五月三十一日

中隊は第二十三軍第四師団、配属し解と摩又仁に轉進し命令

若し隊(右師団)隊後戦況急変し外全員路夜ヲ利用し摩

又仁に向て轉進ス

左記二名首尾を攻撃隊直撃砲彈ヲ受テ戦死セリ

兵長 佐須見 静雄 上等兵 細見 頼助

中隊主力八摩又仁に到着

各野隊後整理ヲ完了中隊主力ヲ遣し摩又仁に續行ス

左記三名摩又仁轉進中島嶼附近に於て敵砲彈落リ戦死ス

兵長 村津 眞次 上等兵 大西 義雄 一等兵 山本 光男

各野隊摩又仁到着

中隊主力八摩又仁九高地前麓自然洞窟谷野に隊八摩

又仁東北方面岸自然洞窟に位置し八九高地に位置する軍

戦司令部所を既設洞窟に用部及び部施設作業修ス

右期間於戰鬥死者左、如左

六月十日 二等兵 味長茂夫 六月十日 二等兵 佐末高義 一等大下巻明  
早朝、各部隊、連絡全、絶、戰鬥司令所、防衛隊長、  
午後五名、二組、斬、入、隊、編、成、摩、又、北、北、高、野、近、敵、砲、陣、  
地、ヲ、捜、索、シ、敵、砲、ノ、爆、炸、ノ、命、ヲ、止、ル、中、隊、八、第、小、隊、ヲ、一、森、川、中、隊、  
曹、以、下、五、名、第、三、隊、ヲ、三、浦、等、以、下、五、名、編、成、待、機、セ、シ、  
三、時、右、隊、八、隊、勇、躍、攻、向、玉、邊、リ、中、島、兵、長、敵、砲、陣、ヲ、多、數、死、ス、  
我、方、陣、ヲ、支、撃、セ、初、ヲ、奏、セ、大、敵、八、摩、又、北、北、高、野、近、三、進、入、火、砲、放、射、  
各、又、戰、陣、ヲ、以、支、撃、シ、来、レ、三、時、中、隊、長、以、下、各、隊、隊、長、除、之、全、  
員、之、六、陣、地、斬、入、ヲ、敢、行、ス、右、斬、入、於、戰鬥、死、確、認、者、岸、本、中、隊、  
以下九名

六月十日

六月十日 以後、状況不明

六月十日

一 第三中隊編成表左、如左

第二中隊長

自昭和十九年三月  
自昭和十九年三月  
自昭和十九年三月  
自昭和十九年三月

大尉 武田 泉治  
大尉 二島 眞五郎

第一中隊長 中尉 洞井 庄吉

第一中隊長 曹 森脇 逸郎  
後代 伍長 萩葉 昌平

第六隊長 中尉 松本 幸三

第六隊長 曹 武村 律雄  
第七隊長 伍長 田中 治郎

第三隊長 中尉 高木 毅

第三隊長 曹 井筒 明  
第三隊長 伍長 平松 修一

行動概要

一 動員覚悟、中隊、本島、於、テ、行、進、シ、状況

昭和十九年三月 中隊、第三、部隊、於、テ、動員覚悟

八月十日 岡山生獲

八月二十日 門田甚士帆

九月一日 中野新那爾港上陸

九月二日 第三十二軍、指揮下三八七

九月五日 中野新那爾谷村を領し又得て移動同地を設営す

九月八日 一〇〇〇高を嶺谷村を領し又得て於て軍命令依り軍子備隊を司令部所、抗道作事、從事す

十一月二十日 抗道作事中止し命を以て爾後材料、整備並に移動準備す

十二月二十五日 第三隊(松平)隊首尾を先發移動軍司令部通信所構築作

業從事す

昭和二年五月二日 中野新那爾谷村に到着爾來第一第三隊協力首尾を司令部所

通信業、從事す

四月三十日 中隊(重砲)隊を配属し命を以て首尾附近に重砲隊、陣地を築

陣地構築作事、從事す其間於て戦死者在り

五月首 兵舎山仔嶺谷村上五月十日至翌日戦死者在り

五月首 兵舎依藤城一福島昌夫中村基次首尾

五月二十日 重砲隊を配属し解り解隊復歸爾來後、軍戦司令部直

接警備命令を以て司令部附近に警備を任す

五月二十五日 津嘉山警備隊を援命を以て同日白雲中強行突破を同地

到着津嘉山警備隊長、指揮下三八一同地に於て戦死配属す

全中野新那爾戦死者在り

五月首 森脇勲郎 平田川

五月二十八日 津嘉山警備隊を配属し解り解隊復歸同日夕刻同地を設営す

摩又仁到着同地を待機す

五月三十日 独浪谷村に配属し命を以て同日夕刻同地を設営す

六月五日 同隊に到着し更に更に同隊に配属す

六月八日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

六月十日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

六月十二日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

六月十五日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

六月十八日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

六月二十日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

六月二十五日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

六月三十日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

七月一日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

七月五日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

七月十日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

七月十五日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

七月二十日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

七月二十五日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

七月三十日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

八月五日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

八月十日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

八月十五日 第一隊陣地を後退し命を以て同地を設営す

六月九日

左也隊配属了解之振回復歸更右也隊美田部連配属ヲ  
命セシ向部隊利美田部隊ヲ中隊各隊各分シテ各大隊配  
属セリ

六月十日 中隊配属已分左、如シ

第一大隊 右海岸方面 第二小隊(松本小隊)

第三大隊 波名城ヲ中央 第三小隊(高木小隊)

第四大隊 左海岸方面 第一小隊(洞井小隊)

中隊長以下指揮呢、第一隊、行動ヲ共ニスル以テ中隊長命令ヲ最後ニ各小  
隊配属先大隊長指揮下ニ入リ戦斗配属共戦斗開始爾後大隊指揮呢  
ト連絡絶テ

摩又仁轉進後、戦死者確認セシ左、如シ

將校 下士 軍九名 兵 三十二名 技手 一名

第一中隊長 藤次左、如シ

第三中隊長

大尉

松宮

昇

第一小隊長 中尉 上念賢次郎

第一分隊長 中尉 曹 尾川正雄

第二分隊長 中尉 井本繁一

第三分隊長 中尉 磯部竹夫

第四分隊長 中尉 北野實次郎

第五分隊長 中尉 楠川秀男

第六分隊長 中尉 岡本時雄

第二小隊長 中尉 小野 勉

第三小隊長 少尉 竹内 隆

行動概要

勦員見解、沖隴於、石碎道、状況  
昭和十九年八月十日 中隊第三小隊於、勦員見解

八月十日 岡山出發

八月二十日 河内港出帆

九月一日 沖隴縣那霸港上陸



六月九日 左也隊配屬了解名振回復歸更在右也隊(美田部)配屬  
 命令已向部隊判明美田部隊中隊各隊各分隊各大隊配屬  
 在可也

六月十日 中隊配屬已分左、右

第一大隊 右海岸方面 第二小隊(松本小隊)  
 第三大隊 波名成(中隊) 第三小隊(島本小隊)  
 第四大隊 左無名方面 第一小隊(洞井小隊)  
 中隊長以下指揮現第一小隊行動中其以上中隊長命令中最後上各  
 隊配屬先大隊長指揮下入戰鬥配屬共戰鬥開始後中隊指揮現  
 運送絶  
 摩文仁轉進後戰死者確認七名(左、右)  
 將校 下士重九名 兵 二十二名 技手 一名

第一小隊長 中尉 上念賢次郎  
 第二小隊長 中尉 小野 勉  
 第三小隊長 少尉 竹内 隆  
 第一小隊長 曹 尾川 正雄  
 第二小隊長 伍長 井本 繁一  
 第三小隊長 曹 磯部 竹夫  
 第一小隊長 伍長 北野 實次郎  
 第二小隊長 曹 楠川 秀男  
 第三小隊長 伍長 岡本 時雄

行動概要

動員完備、中隊於12時進、状況  
 昭和十九年八月十日 中隊第三部隊於動員完備

八月十日 岡山出發  
 八月二十日 河司港出帆  
 九月一日 沖繩縣那霸港上陸



九月二日

第三十二軍麾下

九月三日

島尻郡豐見城村長堂於之設置爾後稍置

九月四日

軍命依上堂全官地三宜物敵洞窟下業從事

自九月七日

軍命依中隊六六隊欠ヲ以津嘉山軍戰中司令所志

至九月十日

洞窟作業從事第下隊(全中尉)八貨物敵洞窟作業任

自十月一日

十月日貨物敵洞窟作業八軍經理部手松隊二福管中隊八全

至十月一日

力以津嘉山軍戰中司令所洞窟作業從事

十二月一日

軍命依上隊中隊以ヲ辦藏軍通院所構築ヲ首

十二月八日

軍戰中司令所首軍二福轉多中隊八首軍市二福駐

自十月八日

軍戰中司令所洞窟作業二從事

至三月十日

軍通院所構築中(中隊)復歸(首二二)

自三月十日

軍方以テ戰中司令所洞窟作業新施設補強作業及首軍市

至五月十日

周二俾以構築二從事

大島中隊二六二戰死者

四月廿三日 村正正義

三月十日 守兵中橋政雄

五月九日 兵部正美

五月十日 守兵原茂夫

自五月十日

第四中隊回美日隊配屬首軍市南西地ニ橋ヲ破壊討敵

軍障蓋物構築ニ從事

老島中隊二六二戰死者

五月二十日 守兵戸世清

五月十日 守兵森務三郎 松本信一 戦死

五月二十八日

軍命依上島尻郡摩文仁ニ轉進

自五月二十九日

軍命依上摩文仁首軍市及道壁與庄間山川與庄間首

至五月三十日

路補修ニ從事部隊轉進ヲ容易ヲラシメ

右補修之域

摩文仁 首軍

第一隊 (司令中尉)

道壁 與庄

第二隊 (中尉)

與庄 山川

第三隊 (中尉)

右期間中兵士戰死者

五月二十日 伍長井本繁一 五月三十一日 兵士井本徳弘 尾島元夫 井本茂次  
上等兵村上鉄男 北崎健一 瀬川五次郎 東朝男 坂上新六 島山三  
二等兵土井均 中島利一 堀田全七 幸山兼義 蔭山良雄 山田正一

六月二日 第一隊 美田部隊 配屬 第二隊 美田部隊 以下美田部隊 第一  
洞窟 松茂内前地 監視消構築 任之 第二隊 野中尉 第一  
示隊 野中尉 以下隊 以下敵對戰車 廢物 構築 松茂内前地 構築 松茂内前地

六月六日 第二隊 野中尉 八仔屋 前進 主力戦死  
六月十日 第一隊 第三隊 瓜ヶ瀬 兩隊 主力戦死  
主陣地 息志 駒村 波呂 成 又 丹空 中隊 六 松茂内前地 八仔屋 台 主陣  
地 在 十 指揮 中隊 指揮 池 主力 戦死 爾後 殘存 者 斷 之 敢 行

六月三日以後 於心 戦死者 確認 在 如 下  
將校 四 下士 官 三 兵 二 五  
部隊 本部 勤務 員 官 七 等 兵 常 久 功 七 年 十 音 七 等 兵 大 原 十 八 治 戦死